

水辺×まちづくり

堀川の水辺空間活用シンポジウム

都市生活を豊かにする水辺空間。その魅力に気づき、様々な活動を通じて上質な水辺空間の潤いを実現している取組みが全国にある。まちづくりや賑わいづくりに繋がる新たな水辺の魅力や活用方法を幅広く知り、今まで気付かなかった堀川の魅力をお伝えします。水辺のさわやかさ、見通しのよさ、気持ちよさを感じられ、楽しい、嬉しい、何度も行きたくなる、堀川の水辺空間の使い方・・・あなたなら、どんな使い方を発見する？

日時

平成23年12月10日（土）17:00～19:30（16:30より受付開始）

場所

名古屋市中区栄1丁目3番3号 朝日ホール（朝日会館 15階）

定員

150名（参加費無料、先着順）

申込方法

裏面参加申込票にてFAX、もしくは同じ内容を記入の上、Eメールにてお申込み下さい。
なお、参加券は発行しませんので定員超過等によるお断りがなければ、当日受付にお越し下さい。
※Eメールでお申込みの際は、件名に「水辺シンポ 参加申込み」とご明記下さい。

申込期限

平成23年12月3日（土）

主催

堀川1000人調査隊2010実行委員会、堀川ウォーターマジックフェスティバル実行委員会、名古屋都市センター、名古屋市

? 問合せ先: 名古屋市緑政土木局河川計画課(堀川タ'イロ) 972-2891

➔ 申込み先: 財団法人名古屋都市整備公社名古屋都市センター
電話 678-2216 (月曜休館) / fax 678-2211
E-Mail chosaka@nui.or.jp

第1部

各都市事例紹介・水辺とまちのつながり方

その① 大阪の事例…NPO法人水都OSAKA水辺のまち再生プロジェクト より

水辺ランチや水辺不動産、水辺MAPの活動を通じた、市民や沿川地権者等への水辺のまちの魅力や情報発信の取組み

その② 広島事例…水の都ひろしま推進協議会（広島市都市活性化局観光交流部交流課水の都担当） より

広島で取り組まれている河川河岸緑地のオープンカフェと、市民民間活動との連携、雁木等の親水空間を始めとした川面に向けたまちづくりへの取組み

その③ 東京の事例…BOAT PEOPLE Association より

船×α企画による新しい水辺の楽しみ方や水面に触れる機会づくり、水辺とまちのつながり、水辺魅力の情報発信への取組み

第2部

トークセッション・水辺空間の使い方

会場案内

その① 山崎 亮 氏（studio-L 代表、京都造形芸術大学教授） 講演



1973年愛知県生まれ。名古屋市立名東高等学校卒業。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。住民参加型の総合計画づくり、建築やランドスケープのデザイン等に関するプロジェクト等。著書に「コミュニティデザイン（学芸出版社）」などがある。

その② 山崎亮さんと語る、堀川の水辺空間の使い方

山崎 亮 氏	studio-L 代表、京都造形芸術大学教授
丹坂 和弘氏	堀川ウォーターマジックフェスティバル実行委員会
秀島 栄三氏	名古屋工業大学大学院准教授、堀川まちづくり協議会委員
羽根田英樹氏	名古屋都市センター上席調査研究統括監



JR名古屋駅より徒歩20分
地下鉄東山線・鶴舞線伏見駅
(7番出口)より徒歩5分

※総合司会 堀川1000人調査隊 2010実行委員会事務局長 服部 宏氏

参加申込票

(FAX送付先：052-678-2211)

水辺×まちづくり 堀川の水辺空間活用シンポジウム

ふりがな 氏名	
所属等	
連絡先等	電話 () — FAX () — Eメール

お申込みいただいた個人情報は、今回シンポジウムのご案内以外で使用することはありません。
複数名での申込みをご希望の場合は、氏名欄に全員の氏名と代表者に○をご記入の上、お申込み下さい。
(ただし、1回の申込みにつき4名まで)

(受付担当：名古屋都市センター調査課 鎌田)